

# RACING PROGRAM

中山競馬場・中京競馬場

レーシングプログラム

出走馬一覧表

2024.9.28

シリウスステークス [GⅢ]



未来へ、走り続ける。



スプリンターズステークス サクラバクシンオー

JRA 70th Anniversary メモリアルヒーロー

HERO IS COMING.

前日発売

スプリンターズステークス [GⅠ]

第58回スプリンターズ(GI)

1200m(芝・右・外)Cコース使用

発走15時40分

このカラー版出馬表の内容は9月27日12時00分現在のものです。その後に出走取消、騎手変更等が生じる場合がありますのでご注意ください。

Main table containing race details: 枠番 (Saddle Number), 馬番 (Horse Number), 父 (Sire), 馬名 (Horse Name), 母 (母の父) (Dam), 生年月日 (DOB), 産地・生産牧場名/Breeder (Origin/Breeder), プレレーティング (Pre-rating), 勝負服 (Silks), 性別 (Sex), 年齢 (Age), 毛色 (Color), 騎手名 (Jockey Name), 生年月日 (DOB), 血液型 (Blood Type), 馬主名 (Owner Name), 調教師名 (Trainer Name), 過去3走成績 (Past 3 Race Results) including race name, distance, time, and position.

※プレレーティングは、原則としてGI・JpnI競走は6着まで、その他の重賞・オープン競走は4着までのレーティング値が対象となります。レーティングの詳細につきましては本誌中面に掲載しております。

# サクラバクシンオー

38,112票



1994年 スプリンターズS (GI)

## JRAレコード&連覇で有終の美

1990年にGIとなって以降では初のスプリンターズS連覇を達成。現在でもしばしば“史上最強スプリンター”と呼ばれるサクラバクシンオーだが、現役時代の3歳春は当初、クラシックを目指していた。しかしスプリングSの12着大敗を機に短距離路線へ。重賞初制覇は中山芝1200mのGIII・クリスタルCだった。

それ以降、徐々にスプリンターとしての素質を磨いていったサクラバクシンオーは4歳、前年6着の雪辱を期して、当時は12月に行われていたスプリンターズSへ。安田記念と天皇賞(秋)を制してきたヤマニンゼファー、前年の覇者ニシノフラワーを、直線で突き放して2馬身半差の完勝を収め、ついに初のGIタイトルを獲得した。

翌1994年、5歳を迎えたサクラバクシンオーは、ダービー卿チャレンジT(当時は芝1200m)の完勝、JRAレコード(当時)でのスワンズ制覇など1400m以下で圧倒的な強さを見せるとともに、安田記念と

毎日王冠の4着、マイルチャンピオンシップでノースフライトに食い下がった2着など、距離の壁にも果敢に挑む姿でターフを沸かせた。

そして迎えた引退レースのスプリンターズS。この年から国際競走に指定され、外国馬はG1ブリーダーズCスプリント2着から臨むアメリカのソビエトプロブレムなど3頭が出走。日本馬もアメリカ産の3歳馬エイシンワシントンら好メンバーが揃う中、サクラバクシンオーは圧巻の走りを見せた。好位から抜け出すと、みるみる後続との差を開き、最後は追い込んだビコーベガサスに本競走がGI昇格後、現在も最大着差タイとなる4馬身差。勝ちタイムの1分07秒1は当時のJRAレコードだった。連覇で有終の美を飾ったサクラバクシンオーは、この年、JRA賞最優秀短距離馬を受賞した。

引退後は種牡馬としてもショウナンカンパ、グランプリボス、ビッグアーサーなど短距離からマイル中心の活躍馬を輩出。史上最強スプリンターとは、まさにサクラバクシンオーのためにある称号といっても過言ではない。

### 第28回スプリンターズステークス(GI)

1994年12月18日 中山競馬場 1200m(芝・右・外) 晴・良 14頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手名	調教師名	タイム/差	人気	通過順位
1	サクラバクシンオー	牡5	57	小島 太	境 勝太郎	R1:07.1	①	④③
2	ビコーベガサス	牡3	55	の場 均	柳田 次男	4	⑤	⑪⑩
3	キョウエイキーマン	牡5	57	松永 幹夫	山本 正司	クビ	⑬	⑧⑤

### 第27回スプリンターズステークス(GI)

1993年12月19日 中山競馬場 1200m(芝・右・外) 曇・良 14頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手名	調教師名	タイム/差	人気	通過順位
1	サクラバクシンオー	牡4	57	小島 太	境 勝太郎	1:07.9	②	③③
2	ヤマニンゼファー	牡5	57	柴田 善臣	栗田 博憲	2 1/2	①	⑤④
3	ニシノフラワー	牝4	55	河内 洋	松田 正弘	3/4	③	⑧⑧

### サクラバクシンオー Sakura Bakushin O 1989年4月14日生 牡 鹿毛

父:サクラユタカオー 母:サクラハゴロモ 母の父:ノーザンテスト  
生産:早来・社台ファーム 馬主:株式会社さくらコマース  
通算成績:21戦11勝

#### 主な勝ち鞍

- 1994年 スプリンターズS(GI)、スワンズ(GII)、ダービー卿チャレンジT(GIII)
- 1993年 スプリンターズS(GI)
- 1992年 クリスタルC(GIII)



1994年スワンズ(GII)

# メモリアルヒーローファン投票結果

2023年に行った70周年メモリアルヒーローファン投票、本競走の結果は以下の通りです。  
1位:サクラバクシンオー(38,112票)

2<sup>位</sup> **ロードカナロア** 32,235票



芝1200<sup>メートル</sup>戦では国内外で通算15戦11勝、うちGI勝ちは「5」。国内最終戦となった2013年のスプリンターズSを圧倒的人気で制し、前年に続く2年連続の勝利を飾った。

3<sup>位</sup> **グランアレグリア** 27,439票



芝1200<sup>メートル</sup>戦は通算2戦1勝。芝1600<sup>メートル</sup>GI5勝という“マイルの女王”の唯一のスプリントGI制覇が2020年の本競走。4コーナー後方15番手から追い込んでの勝利であった。

4<sup>位</sup> **デュランダル** 14,132票



芝1200<sup>メートル</sup>戦は通算9戦4勝で、うちGIは1勝。2003年の本競走を4コーナー14番手からスパートし、“短距離女王”ピリヴをハナ差交わして優勝した。

5<sup>位</sup> **カレンチャン** 10,862票



芝1200<sup>メートル</sup>戦は通算14戦7勝で、うちGIは2勝。2011年に連勝街道を突き進むと、5連勝で本競走を制した。これが自身のGI初制覇。



特設サイト